

平成29年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域		
講習の名称	【選択】学校における疾病予防と保健管理		
開設日	平成29年8月4日(金)	講習時間	6時間
主な受講対象者	養護教諭	受講人数	30人
講習の形態	対面授業	会場	佐賀大学: 医学部校舎講義棟 1階 第2講義室
担当講師	尾崎岩太、千々岩峰子		
講習のねらい・到達目標	学校における疾病予防と保健管理を中心に養護教諭がとるべき行動の判断基準となる最新の知識の習得を目的とする。		
講習内容	<p>現代的健康課題の解決に向けて養護教諭の職務を考えるために下記の内容について講義する。</p> <p>①感染症における近年の現状について免疫学的特徴を理解する。</p> <p>②学校現場は、ひとたび感染症が発生すると集団感染の温床となるリスクを負っている。環境要因が疾病構造に与える影響を含め、現状とその対策について知る。</p> <p>③新学習指導要領の保健に関する改訂の要点を理解する。</p> <p>④養護教諭の専門性・独自性・企画力・運営力など職務推進の基本と実際を理解する。</p>		
評価方法・基準	成績評価は、各講習の担当者が行う試験の成績や、講習への出席状況から総合的に判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		
	認定試験 に関して	資料の持ち込み (可)	
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00~10:30 (90分)	尾崎 岩太	[免疫学: 麻疹・性感染症・エイズの実相] ここ数年、学校現場を中心に若年層に麻疹の流行が見られたり、性感染症の低年齢化が言われておりこれらの実態と対策について述べる。またHIV感染症は日本では依然増加傾向にあり、この疾患の現状について免疫学的特徴も交えて述べる予定である。	
II 10:45~12:15 (90分)	尾崎 岩太	[環境保健: 食中毒の実相/アレルギー] 公衆衛生環境の改善とともに食中毒等の感染症は激減したが、学校現場はひとたび感染症が発生すると集団感染の温床となるリスクを負っている。また逆に公衆衛生環境の改善は人工的な環境の増加とともに種々のアレルギー疾患の増加の一因にもなっていると言われている。環境要因が疾病構造に与える影響を含め現状とその対策について述べる。	
12:15~13:15	昼休み		
III 13:15~14:45 (90分)	千々岩 峰子	新学習指導要領改訂の趣旨及び現代の健康課題の解決に向けて養護教諭の職務について講義を行う。	
IV 15:00~16:30 (90分)	千々岩 峰子	筆記テスト: 講義した内容を確認する。	
持参するもの	特にありません		
予習について	特にありません		
受講上の注意	空調関係の調整が難しい場合があります。各人、衣服の調整ができるようにしてください。 H28年度の講習「【選択】学校における疾病予防と保健管理」と内容が重複します。		